

「リニアに合わせて北陸新幹線の延伸も議論すべきでは？」

平成 27 年 1 月 27 日

●トップハンデさんからの質問

大阪では、リニアの延伸の話があります。しかし、同時進行で北陸新幹線の延伸も議論すべきではないですか？敦賀から米原までは京都大阪間より少し長いくらいです（地図上）。大阪の地方自治は見ての通りなので、京都で議論を盛り上げていただきたいと思います。府連会長の腕の見せ所です。首都圏一極集中解消には、インフラ整備は必要ですが、建物の容積率など、首都圏の規制強化も同時進行しないとマズイと思います。西田氏の見解をお願いします。ついでに、東京と沖縄には知事は不要かもしれませんね。

●西田昌司の答え

私と藤井聡先生は先日、テレビ愛知の『激論！コロシウム～これでいいのか？ニッポン～』という討論番組にパネリストとして参加してリニア中央新幹線の議論をしました。リニア中央新幹線は 2027 年に東京－名古屋間、2045 年に名古屋－大阪間が開業することになっていますが（もちろん、私は何としても大阪同時開業にこぎ着きたいです）、ストロー現象によって名古屋・大阪は東京に吸われて衰退するのではという懸念があり、番組でもそのような議論をされる方がいらっしゃいました。しかし、ストロー現象が起こらないようリニア中央新幹線の計画と同時に法整備もしっかりとしなければなりませんし、私は番組でもそのように訴えました。

リニア中央新幹線によって東京・名古屋・大阪が 1 時間程度で移動可能となると都内を移動しているのと変わりませんし、東京・名古屋・大阪は一つの都市圏になりますが、そうなると確かにストロー現象によりさらなる東京一極集中を招く懸念がありますので、東京の容積率の制限を厳しくしてもう

これ以上は東京に高層ビルを建てられないようにしなければなりません。東京よりも土地の安い名古屋・大阪でビルを構えてもリニア中央新幹線があればビジネスにも困らないということになれば、企業も東京にこだわる必要がなくなって東京の過密化も解消されるでしょう。

ここで北陸新幹線の延伸についてお話しますと、2023年には金沢―敦賀間が開業の予定であり、最終的には大阪まで繋ぐ計画となっていますが、敦賀から先をどのようなルートにするかは現時点では全く未定です。一つの案としては敦賀―米原間を繋ぐという米原ルートがあり、建設距離が短くてコストが安いというメリットはありますが、東海道新幹線に合流しても米原にはのぞみが停車しませんし、1時間にひかり・こだまがそれぞれ1本ずつしか停まらない現状では輸送力が足りないというデメリットもあります。しかし、リニア中央新幹線が開業するとそのぞみが不要となりますし、その分をひかり・こだまに回せば輸送力不足の問題は解決するでしょう。米原ルート以外にもいろいろな案が考えられますが、北陸新幹線の延伸についてはリニア中央新幹線の開業を考慮に入れた議論をしなければなりません。

さらに、リニア中央新幹線や北陸新幹線のルートを考える際は航空機・高速道路との連携も非常に重要ですし、特に私は新幹線ネットワークと関空を繋ぐことにこだわっています。東京・名古屋・大阪が一つの都市圏となった上で、さらに関空を経由して海外とも繋がれば非常に大きな経済効果が期待されます。リニア中央新幹線が開業して東京―大阪間が1時間で移動可能となると、鉄道というよりもトンネル内を飛ぶ航空機といった乗り物になりますし、既存の東京―大阪間の航空機路線に取って代わる移動手段となります。そうして空いた分の路線は他の国内線や国際線に回すこともできますし、現状では一日に数便しか飛ばない国内の地方空港の便数を増やして地方間の行き来を増やせば国全体の発展にも大きく寄与することになります。

関空の決定的欠点である大阪中心部からのアクセスの悪さをリニア中央新幹線が解消すれば、周辺の市街化が進んで騒音問題を抱えている伊丹空港を廃港させられますし、さらに伊丹空港の土地に首都のバックアップ機能を持

たせれば東京一極集中に歯止めをかけて近畿圏も甦えるでしょう。東京に一極集中している現在の状況で首都直下地震が発生すれば日本は二度と立ち直れないくらいの打撃を受けてしまいますのが、伊丹に首都バックアップ機能を持たせれば国家として非常に強靱となります。首都圏と関西圏が同時に震災の被害に遭う可能性はまずありませんし、伊丹は内陸部にありますので津波の心配もありません。伊丹周辺の交通網は発達していますし、敷地も広大であり、リニア中央新幹線で東京と1時間で繋がるとなると中央省庁を大阪に移転させても不都合はありません。

リニア中央新幹線は非常に夢のあるプロジェクトですし、長年デフレに苦しむ日本経済を甦らせるカンフル剤となるでしょう。国民に希望溢れる大きなビジョンを示すのが政治家の仕事ですし、新幹線ネットワークを国民的議論にして皆で多いに「夢」を語りたいものです。何卒、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>